

2017年度 湘南藤沢学会「研究助成基金」成果報告書

環境情報学部4年
河口綾摩

活動名称

シンポジウム「マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2017)シンポジウム」での論文・研究発表

活動日程と場所

日程：2017年6月28日～2017年6月30日

場所：北海道札幌市 定山溪万世閣ホテルミリオーネ

活動の目的

現在取り組んでいる研究テーマについて对外発表を行うことで研究をブラッシュアップし、今後の卒業論文へと繋げたい。对外発表を行うことで研究に関するフィードバックをいただくとともに、他組織からの参加者との交流を深め意見交換を行うことで、今後の研究活動に生かすことを目的とする。

活動内容と成果

「マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2016)シンポジウム」は情報処理学会の諸研究会がネットワークに関する研究分野を中心に、分散システム・ITS・セキュリティなど分野横断的に開催するシンポジウムであり。本シンポジウムは3日間の間で行われる。

今回、このシンポジウムで私が発表を行う研究は「Mirai型DDoSボットネットの監視環境の構築」というタイトルで発表を行った。

IoT(Internet of Things)機器の急激な普及のスピードとは対照的に身の回りのものがインターネットに接続されるという便利さばかりに焦点が当てられており、セキュリティに目が向けられていないという現実がある。そんな中、Miraiと呼ばれる感染コンピュータをネットワーク接続し司令を与える事で大規模な攻撃を行うマルウェアが猛威をふるっている。今回はこのMiraiがソースコードが公開されている事で亜種が増加傾向になっている事も考えて、ISP側でMiraiの攻撃司令を与えるC&Cサーバに感染を装って接続し事前に攻撃司令を取得す

る事でISP側での監視網を構築し、インターネットサービスをより安全に保護し、接続性を向上させるための研究を行った。



謝辞

本発表は、慶應義塾大学湘南藤沢学会 「研究助成基金2017」の支援によって行われた。